

Hockey5s の特性に関する一考察

— 11 人制ホッケー・6 人制ホッケーと比較して —

小林 和 典

東海学院大学短期大学部幼児教育学科

要 約

2014 年 8 月に、第 2 回のユースオリンピック競技大会が中国（南京）にて開催された。この大会は、スポーツ・文化・教育が一体となったイベントを実現することにより、文化・教育プログラム（CEP）も開催され、競技会と同等に重要視されている。ホッケー競技はこの大会で初めて、5 人制で行う Hockey5s が開催された。

現在、日本のホッケー競技は 11 人制ホッケーと、日本独自のルールで行われている 6 人制ホッケーが行われている。今大会の Hockey5s は、初めての国際大会となり、コート大きさや、ルールなどの違いがあり、高校生、大学生の一部の選手しか体験をすることが出来なかった。この Hockey5s が、今後どのような位置づけとなるかが注目されている。

そこで、この大会の参加資格者と同年齢の、岐阜県ホッケー協会に所属している大学生（男子 51 名、女子 27 名）78 名、高校生（男子 37 名、女子 55 名）92 名の計 170 名を対象にアンケートを実施し、Hockey5s の認知度、11 人制ホッケーと、6 人制ホッケーを比較しての興味、および、普及について考察することを目的とした。

その結果、Hockey5s の認知度がまだまだ低いことが判明した。しかし、Hockey5s の特徴として、どこからでもシュートが打てることや、壁を利用してパスやシュートが打てるところに魅力を感じている選手が多かった。今後においては、どのようにして Hockey5s の競技を知ってもらい普及・発展させるかが課題である。

キーワード：ホッケー、Hockey5s、11 人制、6 人制、普及

諸 言

2014 年 8 月 16 日から 8 月 26 日まで、第 2 回ユースオリンピック競技大会が中国（南京）にて開催された。この大会は、国際オリンピック委員会（IOC）のジャック・ロゲ会長が 2007 年に提案し、オリンピックと同じく夏季・冬季に分かれ、それぞれ 4 年ごとに開催。2010 年に第 1 回夏季大会がシンガポールで開催され、205 の国と地域から約 3600 人の選手が参加、26 競技 201 種目が実施された。さらに、14 歳から 18 歳までを対象としたユース世代向けのオリンピックである。

ユースオリンピック競技大会の理想は、スポーツ・文化・教育が一体となったイベントを実現することにより、文化・教育プログラム（CEP）も開催され、競技会と同等に重要視されている。CEP では様々な活動を行い、オリンピックの意義を実感し、友情や相互の尊重を表現できるようにすることを目的としている。

そのため、団体競技では、人数制限を行い基本的に半分の人数で行うように競技が変更された。ラグビーであれば 7 人制で行うセブンズ、バスケットボールであれば 3 人制で行う 3on3、そして、ホッケーは 5 人制（GK を含む）で行う Hockey5s で競技が行われた。女子日本代表 U18 ホッケーチームも、この大会に出場し 4 位

入賞の結果を残した。

現在の日本ホッケーは、オリンピック種目にもなっている 11 人制と、日本独自のルールで行われている 6 人制ホッケーの大会が行われている。今回の 5 人制ホッケーについては、初めての取り組みであった。

Hockey5s は、11 人制ホッケーや 6 人制ホッケーと比較して、コート大きさや、ルールなどの違いがあり、U16 アジアカップや、今大会の選考合宿で経験をした高校生、大学生一部の選手しか、体験をすることがなかった。

しかし、この大会が開催されたことで、日本を含め、諸外国の国々が今後どのように対応していくかが注目されている。

そこで、本研究では、Hockey5s の認知度、11 人制ホッケーと、6 人制ホッケーを比較しての興味、および、今後の普及について考察することを目的とした。

研究対象と方法

1. 対象

対象者は、第 2 回ユースオリンピック競技大会の参加者と同年齢の、岐阜県ホッケー協会に所属している大学生（男子 51 名、女子 27 名）78 名、高校生（男子 37 名、女子 55 名）92 名の計 170 名である。

2. 方法

2015年7月、対象チーム各にアンケート用紙を配布した。各チーム代表者が一括して選手に記載してもらい、アンケート調査を行った。

アンケート内容は、下記のものである。

Q1) あなたは、Hockey5sを知っていますか？

よく知っている 少し知っている 知らない

Q2) あなたは、Hockey5sのルールを知っていますか？

よく知っている 少し知っている わからない

Q3) あなたはHockey5sを行ったことがありますか？

(公式なものでなく人数およびコートの大さが同じものでもよい)

よく行ったことがある 何回か行ったことがある
 行ったことがない

～Hockey5sを知っている(少し知っている)の方に回答をお願いします。～

Q4) あなたは、Hockey5sとホッケー競技(通常の11人制ホッケー)のどちらが好きですか？

Hockey5sのほうが好き 11人制のほうが好き
 どちらともいえない

その理由は何ですか？(簡条書きで良いです。複数回答可能)

Q5) あなたは、Hockey5sと6人制ホッケーとどちらが好きですか？

Hockey5sのほうが好き 6人制のほうが好き
 どちらともいえない

その理由は何ですか？(簡条書きで良いです。複数回答可能)

Q6) Hockey5sの良い点は、どのような点だと思いますか？(簡条書きで良いです。複数回答可能)

Q7) Hockey5sの改善点は、どのような点だと思いますか？(簡条書きで良いです。複数回答可能)

Q8) 日本において、Hockey5sを普及させるべきだと思いますか？

普及させるべき 普及させるべきではない
 よくわからない

その理由は何ですか？(簡条書きで良いです。複数回答可能)

結果および考察

1. Hockey5sの認知度について

調査の結果、図1のように、Hockey5sをよく知っているが5% (9名)、知っているが39% (66名)、知らないが56% (95名)であった。Hockey5sをよく知っている、の内訳としては、大学男子2名、大学女子4名、

高校女子2名であった。

Hockey5sのルールについては、図2のように、よく知っている3% (5名)、少し知っている32% (54名)、知らない65% (111名)の回答であった。よく知っている、の内訳は、大学女子2名、高校女子3名であった。また、図3はHockey5sを行ったことがあるかとの質問であるが、よく行ったことがある2% (4名)、何回か行ったことがある20% (33名)、行ったことがない78% (133名)との回答であった。よく行ったことがある、の内訳は、大学女子2名、高校女子2名であった。

今回の調査は、第2回ユースオリンピックの選考合宿、および事前合宿が行われた地区でもある岐阜県で行われた。この地区の選手たちが、32%しかHockey5sを知らなかったということは、他の地区の選手やスタッフ等は、さらに知らないと考えることができる。

また、Hockey5sのルールをよく知っている、よく行ったことがあると回答した選手はいずれも大学と高校の女子であった。この選手たちは、実際にユースオリンピックの選考合宿に参加した選手であったと推測できる。

これらの結果、Hockey5sの認知度が非常に低いことが判明した。

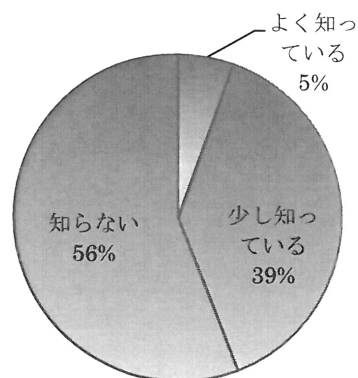


図1 Hockey5sを知っているか

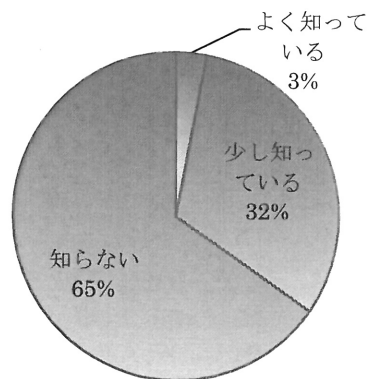


図2 Hockey5sのルールを知っているか

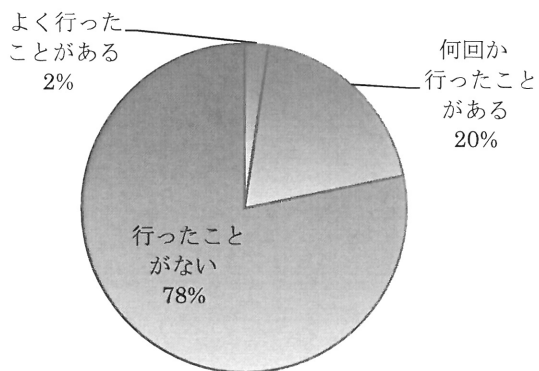


図3 Hockey5sを行ったことがあるか

2. ホッケー分類の興味について

Hockey5s と 11 人制ホッケーのどちらが好きかの質問では、図4のように Hockey5s が好き 6 % (6 名)、11 人制のほうが好き 65 % (67 名)、どちらとも言えない 29 % (30 名) との回答であった。Hockey5s が好きの内訳は、大学男子 2 名、大学女子 2 名、高校男子 2 名、高校女子 1 名であった。

半数以上の選手が、11 人制ホッケーのほうが好きという結果になった。また、Hockey5s のほうが好きは、大学男女、高校男女の全てのカテゴリーにおいて若干いた。このことは、Hockey5s を行ったことはないが、実際に見たりして Hockey5s に魅力を感じている選手がいることが考えられる。

表1より、11 人制ホッケーのほうが好き、を選んだ理由の多くは、「コートが広いパスができる」が、多くの理由であることがわかる。11 人制ホッケーの特徴としては、Hockey5s、6 人制ホッケーと比較して、格段にコートが広いことである(表2)。そのため、ロングパスを含めたパスワークや攻守の切り換えの速さなどが見所となっている。

さらに、少数ではあるが「戦術が多くなる」と回答した選手も上記の理由同様に、人やボールの動きの変化が Hockey5s や 6 人制ホッケーと比較して、多くあることからコートの広さが関係していると考えられる。

Hockey5s のほうが好きと回答した選手の理由としては、11 人制ホッケーが好きと理由とは逆に、「コートが小さく壁があるから」との回答があった。この理由とし

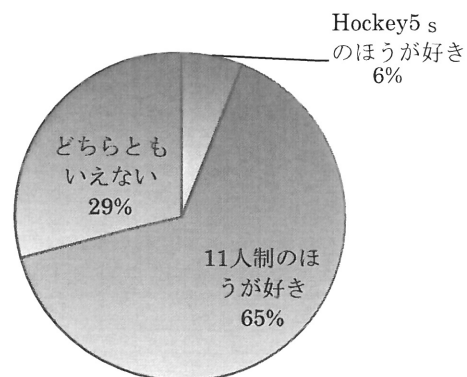


図4 Hockey5s と 11 人制ホッケーのどちらが好きか

表1 Hockey5s と 11 人制ホッケーの好きな理由

理由	人数
<Hockey5sのほうが好き>	
・コートが小さく壁があるから	2
・ボールに多く触れることができるから	2
・どこからでもシュートが打てるから	1
<11人制のほうが好き>	
・コートが広いほうがパスができる	29
・行ったことがないから	11
・戦術が多くなるから	4
・Hockey5sはハードだから	1
・サッカーとコートの大きさが似ているから	2
・Hockey5sのルールを理解してないから	9

表2 ホッケーの種類と試合形式

	Hockey5s	ホッケー(11人制)	ホッケー(6人制)
人数(GK含む)	5名	11名	6名
ベンチ入り人数	最大9名	最大18名	最大12名
コートの大きさ	縦55m×横41.7	縦91.4m×横55m	縦50~55m×横30m
ライン	25cmのボード	75mm(ボード無し)	75mm(ボード無し)
試合時間	12分の3ピリオド	35分の前後半	15分の前後半
ハーフタイム	各2分	10分以内	5分以内
シュート制限	制限無し	14.63mのシューティングサークル内	12mのシューティングサークル内
ペナルティコーナー(PC)	無し	有り	有り
ペナルティストローク(PS)	有り	有り	有り

ては、Hockey5sの特徴としては、サイドラインとバックラインに、ボールが安易にアウトボールにならないように25cmの高さのボードが置かれている。(表2)

したがって、このボードを利用して、パスができること、また、アウトボールになることが少なくなりインプレーの時間が長くなることが大きな特徴とも言える。

さらに、「ボールに多く触れることができるから」もコートの広さに関係する好きな理由の一つであった。

また、Hockey5sには、シューティングサークルがなくどこからでもシュートを狙える特徴がある。ストロークの強い選手やボールコントロール能力が高い選手は、自分の能力が最大限に発揮できる機会が多くなるのが好きな理由の一つとして、挙げられたと考えられる。

Hockey5sと6人制ホッケーのどちらが好きかの質問では、図5のようにHockey5sが好き15% (15名)、6人制ホッケーが好き36% (37名)、どちらともいえない49% (50名)であった。

Hockey5sが好きな内訳は、大学男子4名、大学女子7名、高校男子1名、高校女子3名であった。また、表3はそれぞれの好きな理由である。

Hockey5sと6人制ホッケーでは、Hockey5sのほうが好きとの回答が11人制ホッケーと比較したときよりも、多くなっている。この理由の理由として考えられることは、「シュートを打ちやすいから」との回答が多いことであった。これは、6人制ホッケーのコートの大きさは、Hockey5sコートの約半分である。しかも、シューティングサークルがあり、人数も1名多く競技を行う形になっているため、コートエリアは小さいが人数が多いため、シュートを打つことが容易ではないことが原因ではないかと考えられる。

また、Hockey5sの好きな理由としては、「個人技が目立つから」、「壁を利用できるから」との回答であったが、この2点については、技術・戦術的な要素があり個人のテクニックや壁を利用してのパスが斬新なところにあると考えられる。

逆に、6人制ホッケーのほうが好きの理由としては、「人数が多いほうが楽しいから」、「アウトボールになるから」、「Hockey5sはハードだから」との回答があった。

Hockey5sは人数も少なく、コートも広い。また、壁があるためアウトボールになりずらく、試合継続時間が長くなる。

したがって、体力に自信がない選手にとっては、連続したプレーが多くなるため、体力的にきついと感ずるからではないかと考えられる。

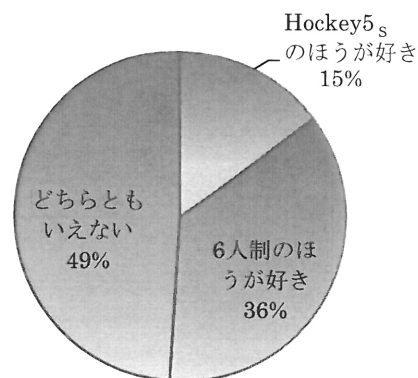


図5 Hockey5s と 6人制ホッケーのどちらが好きか

表3 Hockey5s と 6人制ホッケーの好きな理由

理由	人数
<Hockey5sのほうが好き>	
・シュートを打ちやすいから	10
・個人技が目立つから	1
・6人制は人数が多いから	1
・壁を利用できるから	2
<6人制のほうが好き>	
・人数が多い方が楽しいから	5
・アウトボールになるから	2
・行ったことがないから	9
・Hockey5sはハードだから	4
・セットプレー(PC)があるから	2

表4は、Hockey5sの良い点の理由であるが、「どこからでもシュートが打てるから」が28名で最も多かった。また、「壁を利用できる」が14名で2番目に多い理由であった。続いて「アウトボールになりにくいから」が7名、「スピーディーである」が5名、「個人技が発揮できる」が5名の順であった。

これらは、11人制ホッケーや6人制ホッケーでは、なかなか味わうことができないルールの要素が、多く含まれているものである。特に、「どこからでもシュートが打てるから」は、11人制ホッケーや6人制ホッケーではできない、ロングシュートが打てる場所に魅力を感じるのではないと思われる。

さらに、2番目に多い「壁を利用できるから」も11人制ホッケーや6人制ホッケーではできないことが、壁を利用してパスやシュートを可能にするところに、魅力があると言える。また、「スピーディーである」や「個人技が発揮できる」の回答も、アウトボールになりにくい攻守の切り換えが早く、個人のテクニックが活かせる理由にも関係していると考えられる。

逆に、Hockey5sの改善点の理由(表5)としては、

「コートの広さに対して人数が少ない」(体力的にきつい) 5名、「シュートの危険性が増える」4名、「11人制(6人制)とルールが違う」4名など良い点で挙げられた理由とは反対の意見があった。

これらの理由としては、11人制ホッケー、6人制ホッケーと比較すると、Hockey5sは運動量が多く、体力的にきついと感じているからだと言えよう。

また、少数意見ではあるが「サイドボードの工夫」との意見が2名あった。

Hockey5sのルールでは、コートを囲むライン上に、25cmのボードを設置するとルールに記載されている。

ボードの使用は、インドアホッケーを参考に採用されたと考えられている。インドアホッケーでは、基本的にボールを床から上げては反則になるために5cmの高さに設定されていると考えられる。

しかし、Hockey5sでは、地面からの高さ制限がないために、25cmの設定にしたのではないかと考えられる。

日本では、図6のように木製の高さ25cmのボードを作成し、練習や試合を行っていたが、第2回ユースオリンピック大会では、図7のように固めのウレタン素材で競技が行われた。日本で使用した木製のボードでは、ボールの跳ね返りが強く、壁を利用しての大きなパスが使用できた。選手たちはこの跳ね返りを利用して、有効なパスを計算して行っていた。

第2回ユースオリンピックで使用されたものは、ウレタン素材の柔らかいボードであったために、勢いが吸収

されてしまい、大きな跳ね返りがなかった。したがって、ボールが壁の近くで止まり壁際での競り合いが多くあった。そのため、このボードに倒れこむシーンが何度もあったが、ボードが柔らかい素材であったために、選手たちは怪我をすることはなかった。

もしも、木製のボードで競技が行われていたならば、大きな怪我に繋がる可能性も高かったのではないかとと思われる。

今後は、このボードの素材に対する工夫が必要であると共に、規程も明確にする必要があると感じた。

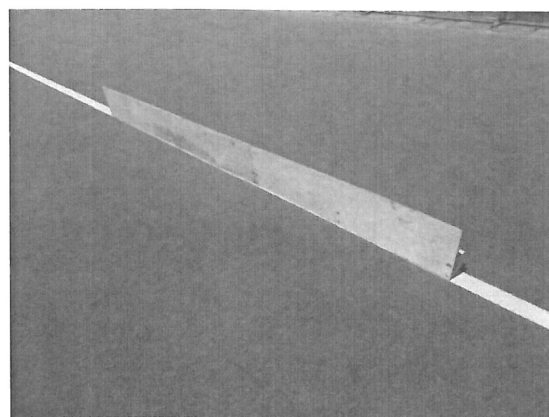


図6 練習で使用した高さ25cmの手作りボード



図7 第2回ユースオリンピックで使用されたボード

表4 Hockey5sの良い点

・人数が少なくても試合ができる	2
・ボールに多く触れることができる	3
・アウトボールになりにくいから	7
・壁を利用できるから	14
・どこからでもシュートが打てるから	28
・点数が入りやすいから	1
・スピーディーである	5
・個人技が発揮できる	4

表5 Hockey5sの改善点

・コートの広さに対して人数が少ない (体力的にきつい)	5
・シュートの危険性が増える	4
・普及をさせる工夫	2
・11人制(6人制)とルールが違う	4
・サイドボードの工夫	2
・ハーフタイムを長くする	1

3. Hockey5sの普及について

図8は、日本においてHockey5sを普及させるべきかとの回答であるが、普及させるべき19%(20名)、普及させるべきではない2%(2名)、よくわからない79%(83名)であった。

約8割の選手がよくわからないとの意見であり、その理由(表6)として多かったのは、「ホッケーの種類が多くなってしまいうから」6名、「ルールがよく理解できないから」4名であった。このことは、ホッケーの用具は同じであっても、コートの大きさ、ルール、時間など

が違い、選手としては戸惑いがあるのではないかと考えられる。

また、少数意見であったが、「危ないから」との回答もあった。Hockey5sでは、ロングシュートを打つ場面があり、シュートボールが選手に当たる場面や、当たりそうになる場面などに遭遇した結果ではないかと推測される。

Hockey5sを普及させるべきかとの回答で、多かったのは、「ホッケー人口が増えるから」8名、「世界大会のためになるから」4名、「新しい大会が増えるから」2名であった。これは、ホッケー競技の普及や発展を願ってホッケー競技がマイナースポーツから、メジャーなスポーツへなるように望んでいると思われる。

逆に、普及させるべきではないと回答した理由は、「年齢制限がある大会だから」、「ホッケーは11人制だけでよいと思うから」がそれぞれ1名であった。実際にHockey5sの大会が開催されるのは、14歳から18歳であるので、この年齢以外ではこの競技は行われなことから発展は望めないと考えたのではないかと推測される。また、11人制ホッケーが好きだと強く思う気持ちが、込められているのではないかと考えられる。

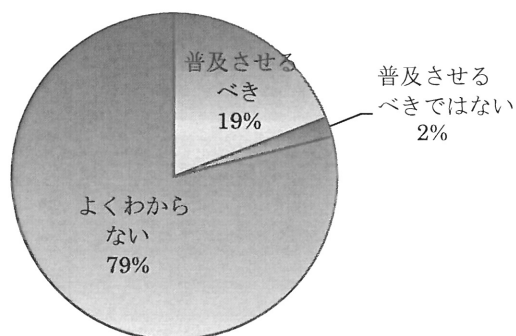


図8 Hockey5sを普及させたほうがよいか

表6 Hockey5sを普及されるべきか

回答	人数
〈普及させるべき〉	
・ホッケー人口がふえるから	8
・新しい大会が増えるから	2
・少ない人数でできるから	2
・世界大会の為には必要だから	4
・トレーニングになるから	1
〈普及させるべきではない〉	
・年齢制限がある大会だから	1
・ホッケーは11人制だけで良いと思うから	1
〈よくわからない〉	
・ホッケーの種類が多くなってしまったから	6
・ルールがよく理解できていないから	4
・危ないから	2

まとめ

これらの結果、Hockey5sの認知度が非常に低いことが判明した。しかし、Hockey5sを知っている選手は、「どこからでもシュートが打てる」ことや、「壁を利用してパスやシュートが打てる」ところにHockey5sの魅力を感じていることが分かった。

また、11人制ホッケーや6人制ホッケーと比較して、人数に対してコートが広い分、体力的にきついと感じている選手がいることも分かった。

さらに、Hockey5sのルールがよくわからないことや、行ったことがないなどの理由で、普及についてはわからない回答が多かったが、Hockey5sを知っているものや行ったことがある選手は、普及させることを望んでいる選手が多かった。このことは、ホッケー競技を、マイナー競技からメジャー競技になるように、発展させたい希望があると考えられる。

今後においては、どのようにしてHockey5sの競技を知ってもらい普及・発展させるかが課題である。

文献

- 公益財団法人日本オリンピック委員会, (2015年), 第2回ユースオリンピック競技大会(2014/南京)日本代表選手団報告集, p154-160
- 公益財団法人日本オリンピック委員会, (2015年), 第2回ユースオリンピック競技大会(2014/南京)日本代表選手団ハンドブック, p62-65
- 公益社団法人日本ホッケー協会 技術委員会競技部施設用具課, (2015年), JHA 施設用具ハンドブック, p1-2
- 公益社団法人日本ホッケー協会, (2015年), ホッケー競技規則 2015, p77-87, p105-108
- 公益社団法人日本ホッケー協会普及委員会 (2013年), ホッケー指導教本, p44-60
- The International Hockey Federation (2014年), Rules of Indoor Hockey including explanations, p11-12
- The International Hockey Federation (2014年), Rules of Hockey5s including explanations, p11-12

A Study on characteristics of Hockey5s

— As compared with the 11players 6players hockey —

KOBAYASHI, Kazunori

Abstract

II Summer Youth Olympic Games, an international sports, education and cultural festival for teenagers, was held August 2014 in Nanjing, China. Education and Culture are also key components for this event. A Culture and Education Program (CEP) will be featured at each Games.

Hockey5s is the new version of the game which has been developed specifically for the 2014 Youth Olympic Games. Hockey played with 11 players on the full size outdoor field and with 6 players on the smaller size field with Japan-specific rules are well known in Japan. Hockey5s debuts at this international event. Therefore, it is not widely known in Japan.

It has done a questionnaire survey regarding the Hockey5s for 170 teenager hockey player in Gifu.

The result of the survey showed that awareness of the Hockey5s is still low, but there are a lot of players felt that it is quite interesting because it could shot from everywhere and also pass or shot by using the wall.

Hockey5s has just begun to play in the world. Therefore, how to spread out this sports including the rules is critical challenge. It is interested to pay attention the development of Hockey5s in the future.

Keywords : hockey, Hockey5s, 11players, 6players, spread